



# 社家小たより



㊦んせつ ㊩る気 ㊪ん気 海老名市立社家小学校 217号

令和元年5月

「教育目標」 校長 立脇寛人

社家小学校の教育目標は、「自ら学ぶ子」、「思いやりのある子」、「礼儀正しい子」、「たくましい子」です。

教育目標を踏まえて大切にしたいことは三つあります。

一つは、「命は一つ、自分の命は自分で守る」ということです。命はなぜ大切かと子どもたちに聞くと「ん〜」と困り顔です。命はなくなってもリセットボタンを押すと生き返ると思っている子がいます。嘘のような本当の話です。「命は一つしかないこと」「替えがないこと」「お金では買えないこと」を子どもたちに伝えたいと思います。自分の命を守り、友達のを大切に作る人に育ってほしいと思います。

二つめは、笑顔です。「いつもお互いに笑顔で会うことにしましょう。笑顔は愛の始まりですから。」はマザーテレサの言葉です。「私も笑顔、みんなも笑顔」「私も楽しい、みんなも楽しい」そんな子どもたち、そんな学校、そんな地域になっているならこんなに素敵なことはありません。

三つめは挨拶です。朝の「おはようございます」はよく言いますが、「ありがとう」と言われて黙っている子がいます。「どういたしまして」を知らないようです。挨拶は目を見て言葉を交わすことで始まります。「召しあがれ」「いただきます」などのように言葉のキャッチボールができる子に育てていきたいと思います。

きれい事だけを並べているわけではありません。理想を語り、よりよい社会を目指して、よいものにたくさん触れ、様々な人とふれあう場と機会を子どもたちに用意することが学校をはじめ、私たち大人の責任だと思います。よい言葉をたくさん浴びて育った子は、悪い言葉を知らずに育っていきます。

地域、家庭、学校がいつでもどこでも、同じことを子どもたちに伝えていかれたらとても素敵なことだと思います。ご協力のほどお願いいたします。

た礼思自  
く儀いら  
ま正や学  
まししりぶ  
いいの子  
子子ある  
子

**笑顔で挨拶 心が通い合う 社家小の子どもたち**

**命は一つ自分の命は自分で守る**

社家小学校には学校応援団があります。地域の19名の方たちが子どもたちの笑顔のために学校を支援してくださっております。学校応援団を中心として、地域の多くの方のご支援により子どもたちは育っております。今後もご支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

**地域で育つ 地域で育てる 子ども  
子どもが元気 地域も元気**